

IDCJ 評価部主催「第 37 回フェッショナル統計分析ワークショップ」  
(2023/04/11,12 & 14, 事前研修) (Zoom 開催) の事後アンケート

1. 「ランダムアサインメント(無作為割付)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。4 件の回答

- 大変満足。エクセルでのランダムアサインメントのやり方が分かり、よかったです。
- 分かりやすかったです。統計以外でも、情報をランダムに分ける必要がある場合に应用できそうだと感じました。
- 大変わかりやすく、よく理解できました。
- 事例も多く、理論と実践の両面から学ぶことができ、非常に有益な研修であったと思いました。改善点は、特になかったように感じますが、よりアウトプットの機会があれば尚良かったかもしれません (グループワークの増加など)。

2. 「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。4 件の回答

- 大変満足。用語や計算式を読むだけではわからなかったことが、標準偏差の手の動きや手計算によって、よく理解できました。手計算をやることの重要性が身に沁みました。
- 式や用語だけを見ると諦めてしまいそうな内容でしたが、練習問題で実際に自分で分析することで、何を導き出そうとしているのかを良く理解することが出来ました。
- 大変わかりやすく、よく理解できました。
- 高校時代の復習も兼ねて基本的なことから丁寧に説明いただいたので満足いたしました。

3. 「t検定(事前・事後のt検定、2群のt検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。4 件の回答

- 全体的な授業の進め方として、用語の理解は後にして、「とりあえず自分で計算して、導き出された結果から何が分かるのか」を考えてそこから用語の定義や意味を考える、というやり方は、統計学初心者にとってとても分かりやすかったです。そして、Mr.マリック体操はきっと一生忘れないと思います。
- 大変満足。開発協力における具体的な事例があったことで、自分の業務と近づけて考えることができ良かったですし、公立小学校での点数分布、ワクチン等の時事に絡めた事例も大変興味深かったです。
- 大変わかりやすく、よく理解できました。
- 歴史的な背景をコラム的に説明いただき、統計分析の歴史についても理解を深めることができたので良かったと思います。

4. 「比率の検定(カイ二乗検定)」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。4 件の回答

- 大変満足。とてもわかりやすく、ワクチンの事例も興味深かったです。
- 5段階スケールと4段階スケールの違いが興味深かったです。内容もわかりやすかったです。
- 大変わかりやすく、よく理解できました。

- 歴史的な背景をコラム的に説明いただき、統計分析の歴史についても理解を深めることができたので良かったと思います。

#### 5. 「回帰分析」について学びました。満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。4件の回答

- ワークショップの中で一番難しい内容だと感じましたが、手計算で自分で解いてみることによって、何とか理解できたと思います。
- 満足です。手計算が多く、途中からなぜやっているかを見失いかけていましたが、最後のご説明で全体を俯瞰することができました。今回の手計算で、自信をもってエクセルの計算の結果であると説明できるという点も腑に落ちました。この手計算の時間に関してのみ、オンラインよりも対面の方が、他の参加者の方と苦労をねぎらいあえて、研修参加者のネットワークや関係性をより構築できるような気がしました。
- 大変わかりやすく、よく理解できました。追加で、事前研修の内容に照らし合わせて、時系列デザインで回帰分析を使用する時の図を書く手順のご説明があると、さらにありがたかったです。（介入前の3点データから予測の線を引く、介入後のデータをプロットする、インパクトの数字を計算する、という手順でしょうか。）
- 理論は非常に高度な内容でありましたが、回帰分析以前の講義内容がつながる部分が多く、理解を深めることができました。

#### 6. 「事前研修：インパクト評価の基本デザインと実例」について、満足度や今後の改善点に関するコメントをお願いします。4件の回答

- どういった分析をするときのどのデザインを利用すべきなのか、実際の適用事例が豊富で分かりやすかったです。また、同じ評価結果から導かれる提言が、全く同じになるとは限らない（日本やアメリカで考えが異なってくる）というのはとても興味深い事実だと思いました。評価結果をいかに多くの人に見てもらい、広く意見や批判をもらうことがより深い分析に大切なことだと感じました。
- 大変満足です。各デザインの特徴や制約が、実際の事例を見ることでより分かりやすかったです。また、講師の方が実務で直面したケース及びその時の対応等も話された点が、とてもありがたかったです。統計研修では計算方法を学びますが、実際にデータを集める際、またデータを分析する際には色々と予期せぬことが起こることが多いのではないかと思います。実際に、こう対応したというお話を聞いておくことは今後ためになるように思います。
- 大変わかりやすく、よく理解できました。
- インパクト評価の歴史からはじまりそれぞれのデザインの優位点、欠点など簡潔に説明いただき、その後の講義がより充実したと思います。

#### 7. Zoom 開催については、いかがでしたか？ 4件の回答

- 分かりやすさ・理解度に関しては、講師の方が随所に工夫を施され、対面でもオンラインでも大きな差はなかったのではないかと思います。大変勉強になりました。また、参加の利便性もオンライン開催の方が高く、参加しやすかったです。他方、他の参加者とのネットワークや交流という観点では、対面の方がより交流できたのではと思います。オンライン開催の中でも演

習等で交流できる工夫がされており、とても良かったです。少し参加者間での交流の時間を持てるとより良かったと思います（時間の関係で難しいかもしれませんが）。

- オンラインでの開催により、どこに住んでいても参加出来るのは大変助かりました。適宜休憩も入れて下さり、時間配分も良かったと感じました。
- 問題なくアクセスできました。
- 自宅から参加でき、参加のハードルも低く良かったと思います。直接参加者の方とお話ができないので、対面式とのハイブリッド開催であっても良かったかな、と思います。

## 8. その他、ご自由にコメントやご要望をお書きください。4件の回答

- 講義を通して、Zoom 開催でも、随所に分かりやすく説明する工夫がなされており、とても驚きました。理解度に関して、対面でも Zoom でも同程度が確保されているように感じました。また、随所で「実務では～している」という話を混ぜて下さったり、実際の事例や論文を紹介くださることで、実務で使う際のイメージを持つことができました。終わりの時間を厳守いただいたこともありがたかったです（最終日だけは時間割上、17時までと理解していたため、質問を控えた方もいらっしまったかもしれません）。
- 参加者にはすでに統計学を学ばれていたり、業務で統計を利用していらっしゃる方ばかりで、統計学は全く素人の私が参加して大丈夫なのか不安でしたが、分かりやすい・面白い教え方によって、本当に足し算・引き算・割り算・掛け算と平均の計算が出来るだけでワークショップの内容を理解することが出来ました。また、一部の用語は英語がテキスト内に書かれていなかったため、ワークショップで出てくる用語の日英対応一覧表があると良いと思いました。とても濃い3日間でした。本当にありがとうございました！
- これまで統計分析に苦手意識がありましたが、わかりやすく、手計算を交えて教えて頂き、苦手意識が和らぎました。実務で使っていけるように、復習や勉強を続けたいと思います。本当にありがとうございました。
- 佐々木先生をはじめ、皆様には大変お世話になりました。大学院時代を最後に統計分析を実務で使用することがありませんでしたが、今後は ODA 事業の分析など今回学んだことを業務に生かしていきたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。